

2020年度 PDCAサイクル

NO	分野	Plan (計画)	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善)
1	放射線療法の推進	放射線治療コンサルトに対してカンファレンスを実施し、当院で実施していないIMRT等の適応及び他院への紹介を検討	高精度放射線治療目的の他院紹介患者数を集計	今年度の高精度放射線治療目的の他院紹介数は5人	放射線治療適応患者検討委員会の実施継続
2	薬物療法の推進	外来から入院まで化学療法全体において閉鎖式器具を導入する。ヒヤリハットがないよう導入時はCNが頻回に病棟ラウンドする	6月より外来、11月より入院にて閉鎖式器具を導入。事前に該当スタッフへ使用方法や意義について説明した	現在のところヒヤリハットの発生なし。大きなトラブルなく経過している。	曝露によるヒヤリハットのモニタリング継続
3	拠点病院等におけるがん治療の更なる質の向上	2020年8～9月に還元される予定のQI研究結果を用いた治療内容分析	他施設に比して治療実施割合が低いものから順に診療記録の査読を開始した。1ヶ月毎に、実施した査読結果のフィードバックを行う。	各診療科において、フィードバック結果を共有する。	来年以後も引き続き実施し、フィードバックの結果が反映しているか否かを経年比較していく。
4	臨床研究（臨床試験・治験）の促進	外部の治験施設支援機関と契約し、治験の紹介件数を増やす。ホームページを充実させる。	SMOとの契約により治験の紹介件数は増えた。 ホームページの記載整備等微細な修正は行った。	紹介は増えたが参加可能な治験紹介は54%であり、契約に至るものはなかった。ホームページの全体的な充実はできなかった	なぜ契約に至らないかをさらに検討する。 ホームページからの紹介が増えるよう全体を見直す。